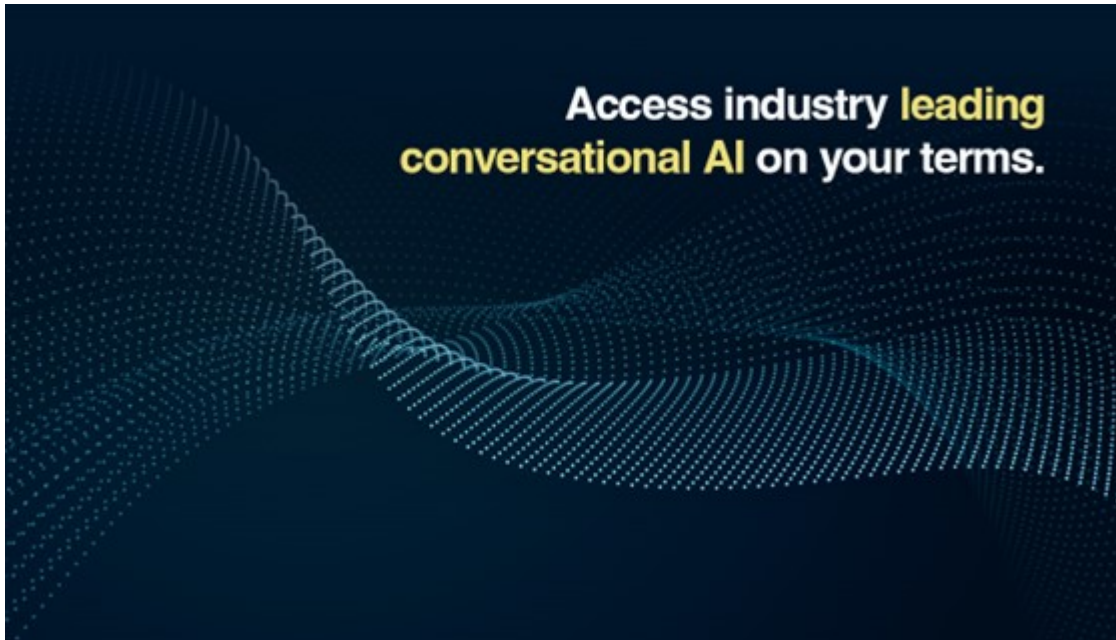


セレンス、IoTアプリケーション向けに特別設計された 低フットプリントAIスイート製品を発表

7月 26, 2023

～ CVNet社、同社のスマートホーム機器の制御にセレンスの新しいイノベーションを初採用～

自動車業界向けにAI技術を提供するCerence Inc. (以下セレンス)は、IoTアプリケーション向けに特別に設計された低フットプリントAIスイート製品、「Cerence Audio AI Lite (セレンス・オーディオ・エーアイ・ライト)」と「Cerence Input AI Lite (セレンス・インプット・エーアイ・ライト)」を発表しました。お客様の多様なニーズを満たすように構築された本製品は、低フットプリントを必要とするIoT製品向けの技術です。韓国CVNet社は、同社のスマートホーム機器にセレンスの技術を初めて活用した事例となります。



セレンスの製品ポートフォリオに追加された低フットプリントAIスイート製品は、同社の事業領域を拡大し、新市場での新たな機会を切り開きます。この製品により、IoT機器メーカーは、プラットフォームのサイズや構成、リソースに制約を受けず、業界をリードするセレンスの技術を活用できます。大手自動車メーカーやモビリティOEMによって世界中で利用されている実証済みのソリューションを基に、IoT向けに特別に設計されたCerence Liteソリューションは、大量の高品質なドメイン固有のフィールドデータによって、モデルトレーニングされています。初期の機能は次の通りです。

- Cerence Audio AI Lite: エコー、残響、不要なノイズなどの音声以外のノイズを除去することで、ユーザーのオーディオ入力をクリーンにし、機器がユーザーの質問やコマンドをはっきりと聞き取り、最も理想的な結果を返します。
- Cerence Input AI Lite: ウェイクアップワードと会話型音声認識の両方をサポートし、機器の有効化から、理解、パーソナライゼーションまで全て音声でやりとりできます。ウェイクアップワードは、事前設定や、ユーザーが必要に応じてカスタマイズすることもできます。

セレンスの最高製品責任者 (CPO) ニールス・シャンツ (Nils Schanz) は、次のように述べています。「セレンスの新しいLiteソリューションは、システムパフォーマンスの向上とリソース消費の低減を最高のバランスで両立して提供します。セレンスは、IoTに関わるメーカーがプラットフォームの制約に関係なく、業界をリードできるように支援すべく、スケーラブルで柔軟性に富んだ当社のオーディオAIとインプットAIのカスタマイズ可能なソリューションを活用して、製品のユーザーエクスペリエンスの向上を目指します」

セレンスの低フットプリントソリューションは、スマートホーム、イヤフォン、補聴器、業務用およびオフィス生産性向上製品など、様々な用途の機器で活用可能です。CVNet社は、韓国市場向けのスマートホーム機器にセレンスの本スイートを導入し、韓国語でのウェイクアップワードとコマンド入力にもセレンスの技術を活用しています。

セレンスの詳細については、当社の日本語ウェブサイト <https://www.cerence.com/ja/home> をご覧ください。最新情報については公式 [LinkedIn](#) および [Twitter](#) からご覧いただけます。

【セレンスについて】

セレンス (Cerence Inc.) は、自動車を含むコネクテッドモビリティの世界へ独自のソリューションを提供し、感動的なユーザー体験を創出するグローバルリーダーです。世界をリードする自動車メーカーとモビリティOEMのイノベーションパートナーと提携し、自動車/二輪車さらにはエレベーターや消費者のデジタルライフにいたるまで、直感的なAIベースのインタラクションを実現し、コネクテッドワールドの発展に寄与します。20年にわたる知見と4億7,500万台以上もの自動車への採用実績を有する当社は、コネクテッドカー、自動運転、EV、スマートビルディングのロードマップに明確なビジョンを持っています。詳細については、当社の日本語ウェブサイト <https://www.cerence.com/ja/home> をご覧ください。